外壁に斜めの化粧材を配置する方法

文書管理番号：1229-01

Q.質 問

妻壁に斜めの化粧材を配置したい。

外壁に斜めの化粧材を配置したい。

A.回 答

外壁に斜めの化粧材を配置するには、外部意匠配置の付け柱を利用します。

ここでは、外部意匠配置で妻壁に付け柱や付け梁を、以下のように配置する方法を説明します。

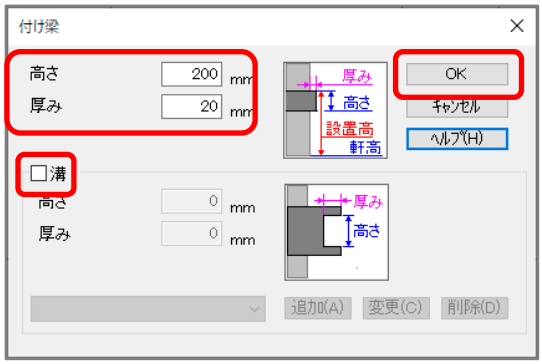
操作手順

① ☰(クイックメニュー)またはメインメニューから(外部意匠)をクリック

＊　外部意匠配置の画面が表示されます。

② (付け梁)をクリック

＊　付け梁の設定画面が表示されます。

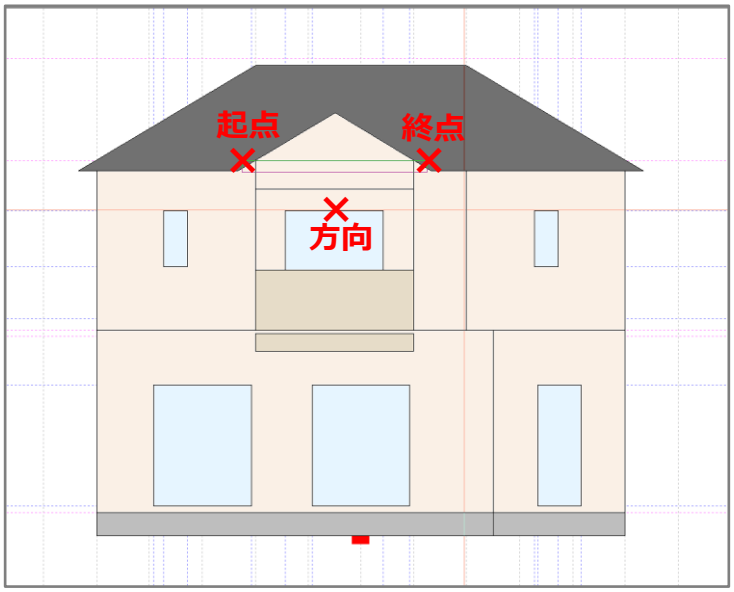


③ 設定を変更し「OK」をクリック

＊　ここでは、高さ「200」mm、厚み「20」mm に設定し、溝のチェックは外したままとします。

④ (2 点方向指示)になっていることを確認し、起点―終点―方向を指示

＊　付け梁が水平に配置されます。



【参考】

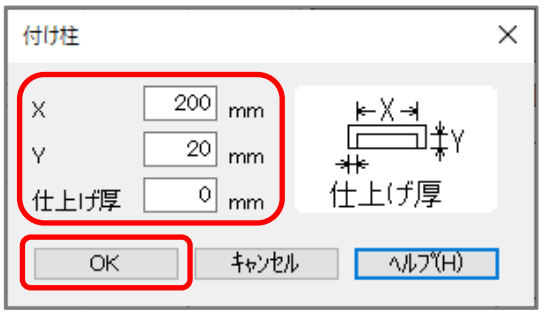
ここでは、(2 点方向指示)を使用しましたが、必要に応じて(2 点配置)、(1 点配置)に切り替えて入力してください。

(2 点配置)・・・東西南北４面のどれか 1 つの面上で、起点―方向を指示すると４面に配置されます。

(1 点配置)・・・バルコニー手摺に配置する際に使用します。

⑤ (付け柱)をクリック

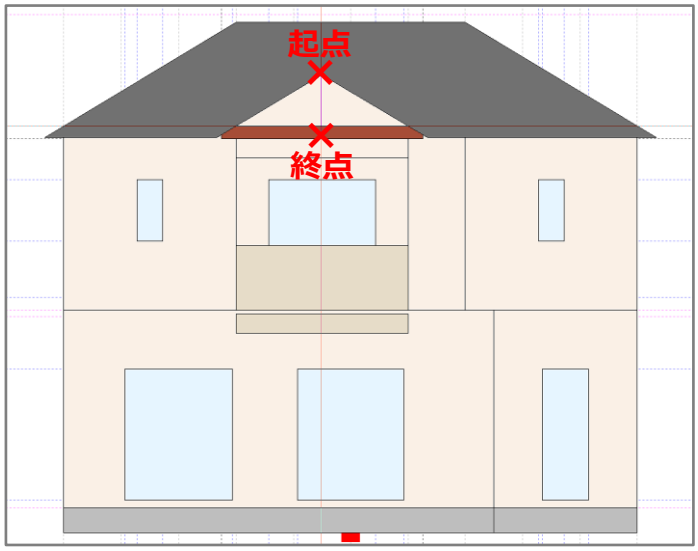
＊　付け柱の設定画面が表示されます。



⑥ 設定を変更し「OK」をクリック

＊　ここでは、X「200」mm、Y「20」mm、仕上げ厚「0」mm に設定します。

⑦ (2 点配置)になっていることを確認し、起点―終点を指示



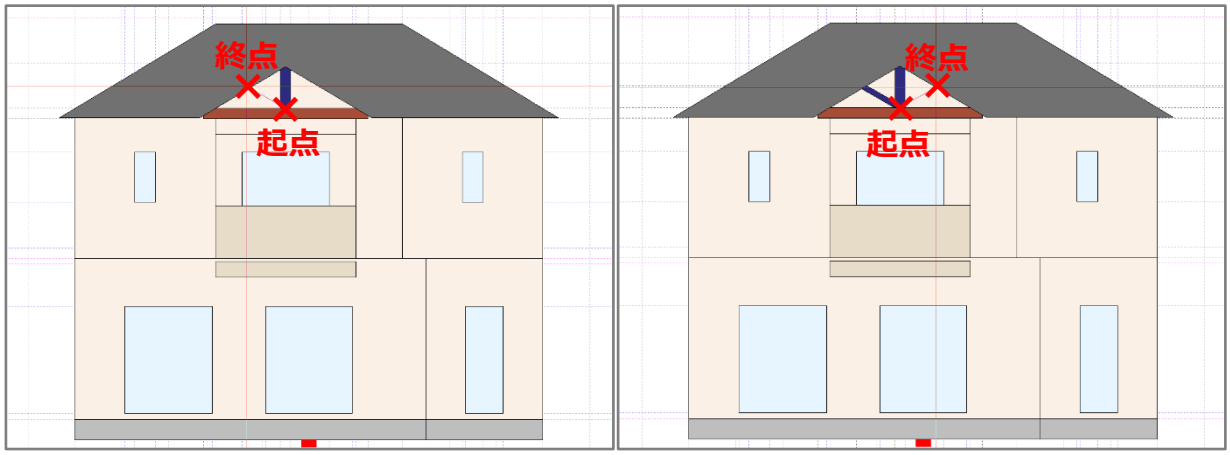
＊　付け柱が垂直に配置されます。

【参考】

ここでは、 (2 点配置)を使用しましたが、配置する位置に応じて、(矩形配置)に切り替えて入力してください。

(矩形配置)・・・付け柱をたすき掛けに配置します。

⑧ 付け柱を斜めに配置



＊　付け柱が斜めに配置されます。

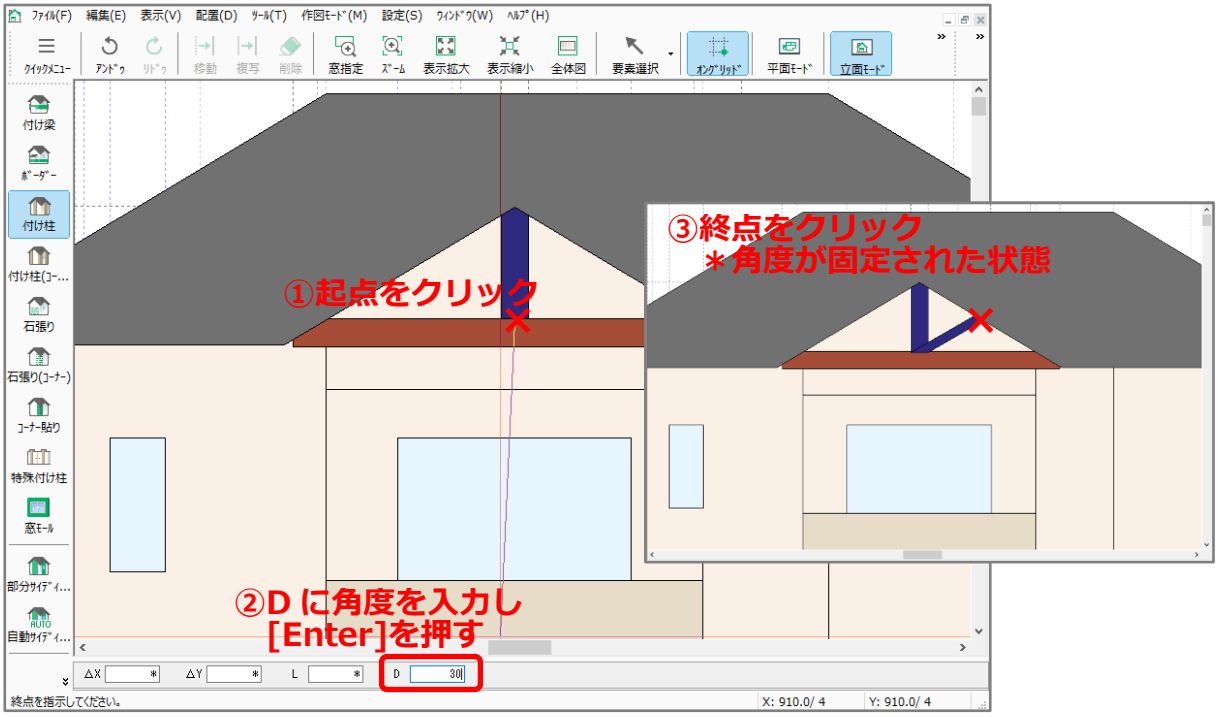
＊　外部意匠配置の画面では、付け柱などを簡易的に表示しているため、斜めに配置した付け柱と垂直に配置した付け柱が異なる幅に見えますが、パースや立面では設定したサイズで表示されます。

【参考】斜め角度の指定

付け柱を斜めに配置する際に角度を指定する場合は、インフォバーを使用します。

付け柱の起点となる位置でクリック後、インフォバーの「D」欄を直接クリックして角度を入力し、[Enter]キーで確定します。

付け柱が入力した角度で固定されますので、任意の長さの位置で終点をクリックします。



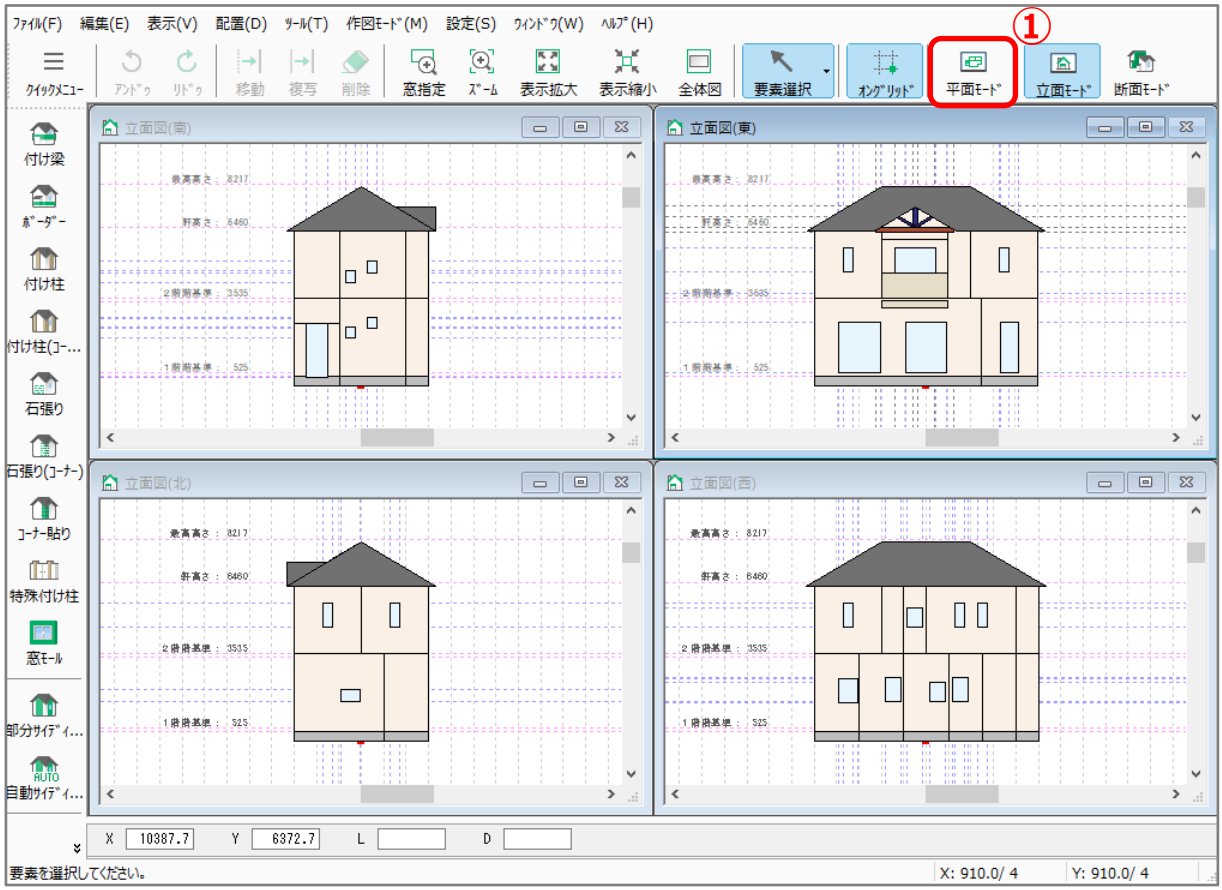
⑨ (3D パース)で確認

操作手順：付け梁、付け柱の移動

外部意匠配置の平面モードでは、配置した付け梁や付け柱を移動させることができます。
ここでは、立面モードで配置した付け梁と付け柱を、平面モードで軒先の方向へ移動させます。

【注意】
平面モードで配置した付け柱も移動できますが、高さの設定によっては、移動を行うと 3D パースで表現されなくなることがあります。

① (平面モード)をクリック



＊　外部意匠配置の平面モードの画面が開きます。

② 付け梁、付け柱が入力されている階を表示

＊　ここでは 2 階に切り替えます。

③ (要素選択)をクリックし、部材を選択

＊　複数の部材をまとめて移動することができないため、一つずつ選択します。

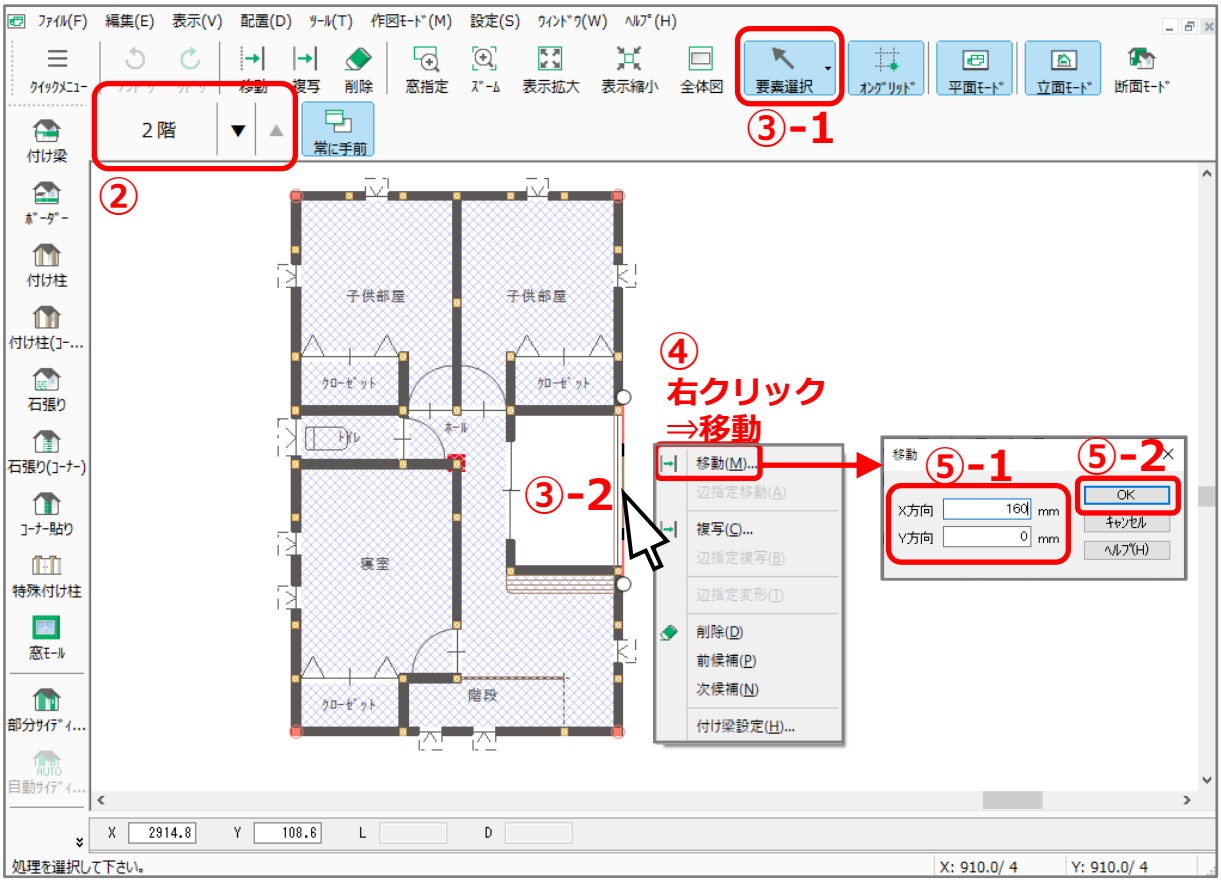
④ 右クリックメニューから「移動」をクリック

＊ 移動の画面が表示されます。

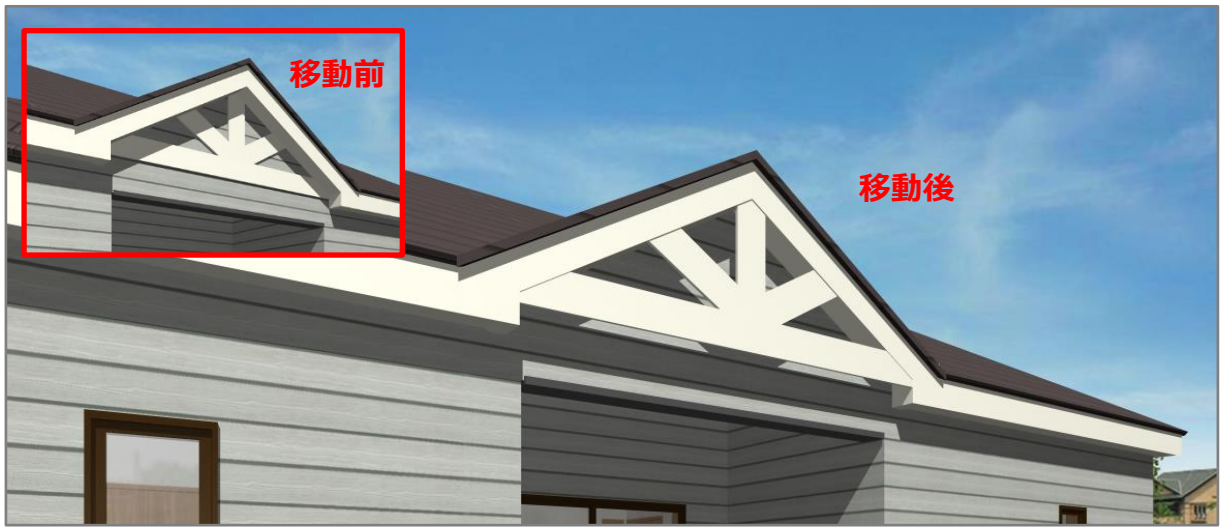
⑤ 移動量を入力し「OK」をクリック

＊ ここでは X「160」mm、Y「0」mm と入力します。

＊ 選択した部材が X 方向に 160mm 移動します。



⑥ 残りの部材も移動し、(３Ｄパース)で確認



＊ 外部意匠配置の画面は、(平面モード)をクリックすると立面モードに戻ります。